



■最近体調がすぐれない鈴木さん。食欲もなく、だるくて眠れない日々が続いています。検査をしても胃潰瘍以外、身体的な異常はみつからないものの、数社の消費者金融に借金があり、つらい日々を送っています。



(廊下)

患者：あの～（恐る恐る声をかける）



看護師：なんですか？（忙しそうに）。

患者：～あの、ちょっと心配があって～
（思い切って呼び止める）



看護師：心配？心配って何がですか？

患者：いえ、あの、ちょっと検査の結果のことで…



看護師：検査結果の説明、先週受けませんでしたか？

患者：あ、はい、受けました。

看護師：昨日、異常はないって主治医に言われてましたよね。



患者：はい・・・でも、まだ体調悪くて、つらいんです。

看護師：つらいうて、困ったなあ。

(診察室)

看護師：(内線電話をかける)先生、看護師です。スズキさんですけど、検査結果の説明に納得していないようなので、ちょっと診てもらえませんか？

医師：前回、異常ないって説明したし、なんでそんなこと言っているんだ。

看護師：わかりませんよ。そんなこと言われても・・・でも、先生呼べてうるさいから、ちょっと診てもらえませんか。



(診察室)

医師：お待たせしました。(やや不機嫌)



看護師：ほら、あなた(患者)から言って・・・

患者：あの、体調が悪くて・・・



医師：先週、異常ないって説明したはずですが(何か文句あるかという雰囲気)

患者：でもまだ体調が悪くて、それでどこか異常があるんじゃないかって思って。

医師：でも異常なしですよ。



患者：じゃあどうして体調が悪いんでしょう。見落としてるんじゃないんですか？

医師：そんなことあるわけじゃないじゃないですか。
とにかく、胃潰瘍以外には身体的精査で異常はないわけだから、心理的問題です。いろいろと神経質だと病気でないのに病気になりますよ。とにかく、異常はないんだから、気持ちの持ちようなんですよ。



患者：でもこんな調子悪くて、ガンなんじゃないんですか。



家族：あなた！ ダメじゃないそんなこと言って。

患者：だれもわかってくれない、こんなつらいのに。

医師：つらいつらいつて、そんな弱音を吐いたらだめですよ。
悪くないんだから、とにかく気をしっかり持って。



患者：これ以上どうしっかりしろっていうんですか？

医師：だからね、気の持ちようですよ。



患者：もう、こんな調子が悪いんだったら死んだ方がましです。

家族：あなた、そんなこといったらダメ！

看護師：そうですね。死ぬなんて言ったらだめじゃないですか。



患者：でも体調も悪くて、仕事も休んでしまって、もうどうしようもない…

医 師：身体の方は治せるけど、ここはね。
それに、死にたいなんて言っているようだったら、まず精神科に行ってもらわないと・・・ここは内科なんだから。



医 師：そんなこといわないでください。

看護師：ほんと、スズキさん少し悩み過ぎよ。奥さんもいるのに。しっかりしましょう。



医 師：なんでこんなにご主人は、不安なんですか？

家 族：体調不良で休んでから、借金もあったりして、ずっと悩んでいるんです。困ったなあ、困ったなあって、入院前からずっと...それで眠れなくなったりして・・・



医 師：なんだ、それではうつ病だね。
そんなに眠れない、死にたいと言うのであれば重症です。

とにかく、精神科を紹介しますよ。
奥さんもいいですね。



家 族：だんまり...

医 師：よく悩むのもわかりますよ。
借金してたんだったら、そりゃ辛かったでしょう。



患 者：とにかく治してほしいんです。先生、私を見捨てないでください。

医 師：精神科の先生がしっかり治療してくれるから心配ないですよ。

うつ病はね、すぐよくなるから、心配し過ぎちゃだめです。いくら借金あるからといって、悩み過ぎは良くないですよ。気楽に考えないと。奥さんもね、ついていてくださいね。



家族：…はい。ご迷惑をおかけして本当にすみません。

医 師：とにかく、まず精神科を紹介しますよ。明日、行ってください。紹介状書いておきますから。わかりましたか？

患 者：…はい・・・

医 師：あと借金とか悩んでるようだけど、病院はそういう相談は受けられないから、よそで相談しないとね。胃潰瘍は薬飲んでれば大丈夫だからね。



患 者、家族：はい…